

## 今年のFW施肥を考える

イラン問題や円安で各資材の価格が高騰し、予算管理が大変だと思います。中でもFWの施肥は経費節約の対象になり、施肥量が少なくなっています。しかし、減肥で芝の状態が悪くなっているコースが多くあります。

### 1. FWが終わっている

あるコースを訪問すると、FWに裸地が多く悲惨な状態でした。このコースは春秋だった施肥を秋だけにしさらに近年は、施肥を全くしていなかったようです。原因は虫害ではなく夏の乾燥が原因でした。このように春施肥をすると刈取りが大変なので、散布量を少なくしたり、秋肥中心の施肥が多くなっています。

### 2. FWも 夏越しを意識しよう

夏越しに苦労するのはベントグラスですが、近年はFWの夏越しも問題になっており、原因は夏の乾燥です。乾燥害に弱くなる一番の原因は更新作業不足です。（サッチの集積、目砂不足、エアレーション不足）二番目の原因は春肥不足です。春肥で芝の生育が良くなると、乾燥害を受けても秋の回復力が全く違います。

※ 施肥はサッチの分解を促進します。芝の生長が良くなると、根張りが良くなり排水が良くなります。このように更新作業ができない場合は、施肥が有効に働きます。

### 3. 芝の状態によって 施肥バランスを考えよう

FWの状態	春 肥	秋 肥
芝密度が適正	春肥やや少なく、または緩効性肥料	春肥と同じ施肥量
芝密度が低い	春肥多く 比較的早く肥料	秋肥も多く、緩効性でなくてもよい

### 4. TGアルバの FW・TEE肥料

芝の状態や肥料の特徴を知って肥料を選んでください。

理想的には、予算を考えずに適した肥料で適した量を散布するのが理想です。しかし、もっとチツソを施肥したいのに、高価格肥料を妥協して少なく散布しているコースがあります。このような場合は安い肥料に変更し、適正なチツソ量を散布することも重要です。

肥 料	成 分	特 長
TGアンカー044FR有機	20-4-4	メチレン尿素と有機が合体した緩効性肥料
TGアンカー900FR	39-0-0	100%メチレン尿素、刈り取り軽減にはこの肥料
ターフメイト844	18-4-4	チツソ成分が高い、緩効性肥料
スリムユーキ	10-3-3	現在の芝や土壤に適した低コスト肥料
ターフスパイス	8-3-8	サッチ分解菌が入っている有機化成肥料
高度化成555	15-15-15	低コストでガツンと効く肥料